

プレスリリース

英ロンドン、2024年9月10日午前6:00

2024年プラチナ市場の不足予想は 31トン超

- 2024年の予想供給量は一段と縮小し、5年平均を6%下回る1%減の220トン。一方の予想総需要は3%増の252トンに
- 通年の投資需要は16トンの見込み。ETFへの資金流入や、ラージバー（500g以上、需要予測に含まれるようになりました）を中心とする中国の地金・コイン需要の力強い伸びが後押し
- 2024年第2四半期は宝飾品需要が急増。同セグメント全体の年間7%増に寄与
- 自動車需要と工業需要は、すでに高水準にあるものの、2024年はさらに各1%増の見通し

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル（WPIC®）は本日、2024年第2四半期のPlatinum Quarterlyを発表し、2024年の通年予想を修正しました。

2024年第2四半期の世界のプラチナ需要は、前年同期比13%増の75トンとなりました。投資セクター（前年同期比137%増）および宝飾品セクター（同5%増）における力強い成長がこの伸びをけん引し、自動車セクターおよび工業セクターからの安定した需要を補完しています。供給面では、鉱山生産量が増加し、二次供給も安定しているとはいえ、世界の総供給量61トンは需要を大幅に下回り、14トンの不足となりました。

通年のプラチナ総供給量は、すでに低調であった2023年の水準から1%減少し、220トンになると予想されています。リサイクル供給量は、前年同期比2%増の49トンと小幅増が見込まれるものの、171トンと予想される鉱山供給量の2%減によって相殺される見通しです。一方、総需要は堅調な成長により252トンに達すると予想されるため、2024年の市場は32トンの大幅な不足となります。

2024年の投資需要は16トンに達すると見込み

2024年第2四半期のPlatinum Quarterlyレポートは、対象を拡大し、中国における500g以上の地金購入を初めて含むようになったことにご注目ください。これは、より詳細な市場データへのアクセスが可能になったことによって実現しました。2024年第2四半期に、これらの購入量は前年同期比で2倍の水準となる1トンに達しており、通年では前年比40%増の6トンになると予想されています。

投資需要は、プラチナETFに14トンもの資金が流入し、2024年第2四半期は2020年第3四半期以来の高水準となりました。ETFの堅調なパフォーマンスは、中国におけるラージバー（500g以上）需要とともに、日本での純投資減と北米での買い控えにより1トンまで減少した地金およびコイン需要の63%急減を補って余りあるものでした。取引所保有在庫は1トン減の5トンでした。

2024年の投資総需要は前年比15%増の16トンに達すると予想されています。プラチナETFの保有残高は5トン増加すると予想されています（ただし、2024年第2四半期の流入は減

少)。中国における現物投資、特にラージバー（500g以上）カテゴリにおいては、他の地域の地金・コイン需要の低迷を補って余りある旺盛な伸びが見込まれています。

金価格の高騰を受け、プラチナ宝飾品需要は7%増加

当四半期のプラチナ宝飾品の世界需要は、プラチナと金の価格差拡大を受けて、2021年第4四半期以来初めて16トンを超え、前年同期比5%増となりました。インドにおけるプラチナ宝飾加工は、米国、英国、UAEへの好調な輸出に支えられ、前年同期比で15%急増しました。欧州および中国はそれぞれ7%、5%増加しました。

2024年通年では、金価格の歴史的な高騰を背景に、プラチナの宝飾品需要は前年比7%増（+4トン）の62トンに達する見込みです。インドでは宝飾品生産が28%増とさらに力強い成長が見込まれ、日本での需要も前年比8%増の11トンという2019年以来の高水準が予想されています。欧州におけるオフテイク調達量は4%増加し、過去最高に達すると見込まれています。一方、2024年の北米での需要も3%増加し、過去最高を更新すると予想されています。特筆すべきは、中国での加工量は3%の改善が予想され、これによって2013年以来続いている需要の落ち込みが反転することです。

47%増のガラス需要を背景に、工業需要は堅調

2024年の工業需要は74トンに達し、2023年の高水準から前年比1%増となると予想されています。2024年第2四半期のガラス需要は前年同期比48%増の7トンとなりましたが、これは2023年から遅れていた中国のLCD生産能力の増強によるものです。その結果、2024年通年のガラス需要は前年比47%の増加が見込まれています。

2024年は、医療分野（4%増の9トン）と水素ベースの用途（123%増の2トン）の需要も前年比で増加する見込みです。一方、石油需要は軟化し（3%減の5トン）、電力セクター（1%増の3トン）およびその他の産業セクター（2%増の18トン）は前年比小幅増となることが見込まれています。

全体として、こうした増加分は、化学品のプラチナ需要によるオフテイク調達量の急減を相殺するでしょう。化学品のプラチナ需要は、主に中国の石油化学産業の減速が原因となり、2024年第2四半期に前年比48%急減（-3トン）し、4トンとなりました。通年では、化学品需要は31%減の17トンになると予想されます。

2024年の自動車用プラチナ需要は、生産台数の減少に反し1%増加

2024年第2四半期の世界の自動車用プラチナ需要は、特に北米でハイブリッド車の比率が上昇し、プラチナを多く含む三元触媒の使用が拡大したことから、前年同期比1%増（+0.2トン）の26トンとなりました。

2024年の自動車用プラチナ需要は、世界の自動車生産台数予測が9,110万台に下方修正されたにもかかわらず、前年比1%増の101トンと、7年ぶりの高水準に達すると予想されています。この成長は、バッテリー式電気自動車（BEV）への消費者需要の鈍化、ハイブリッド車の台数増加の継続、排ガス規制の強化、パラジウムの代替としてのプラチナの増加（2024年は23トンに達すると予想）によって、今後も後押しされるでしょう。

総供給量は第2四半期に4%増、通年ではさらに1%減

2024年第2四半期の鉱山精製供給量は、前年同期比4%増の48トンに達しましたが、これは主に南アフリカの生産量が7%増加したことによるもので、この生産増が他地域での減少を相殺しました。

ただし 2024 年通年で見ると、南アフリカにおける採掘供給量はコスト主導の再編により、前年比 2%減の 121 トンに減少すると予想されます。これにロシアの生産減少が加わるため、プラチナ総供給量は 2%減の 171 トンと、4 年ぶりの低水準が予想されます。

一方、リサイクル分野の世界的な低迷は 2024 年第 2 四半期も続いており、前年同期比 1%増 (+0.1 トン) にとどまりました。これは、使用済み自動車触媒のリサイクル量が若干増加し、宝飾品および電子製品のスクラップの減少を相殺する形になります。リサイクル供給量は通年で前年同期比 2%増の 49 トンに達すると予想されています。使用済み自動車触媒市場は、消費者からスクラップヤードへ、スクラップヤードから精錬業者への原料の流れを妨げていた要因の改善に支えられ、2 年間の減少を経て、安定化の兆しが見られると予想されます。

最後に、地上在庫は 2 年連続の減少が予想され、25%減の 93 トンと、4 年ぶりの低水準になる見通しです。これは、わずか 4 か月強の需要に相当します。

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルのトレバー・レイモンド CEO は次のように述べています。「2024 年のプラチナ市場は、旺盛な需要と継続的な供給の脆弱性が原因となり、2 年連続で大幅な不足となるでしょう。しかし、これほど不足していても、プラチナ価格は反応していないように見えます。長い間、プラチナ価格は需給のファンダメンタルズよりも、センチメントに左右されてきました。ディーゼルゲート事件（独ディーゼルエンジン車の排出量不正問題）を契機とする自動車用プラチナ需要の継続的かつ不可避な減少予想と、駆動方式の急速な電化に対する世界の期待が、センチメントを決定づける重要な要因の 1 つであることは間違いありません。現在のところ、ディーゼルゲート事件によってディーゼル乗用車の生産台数は激減していますが、ガソリン車用触媒コンバーターへのプラチナ代替が進んでいることに加え、電化が予想よりもはるかに遅れているため、自動車用プラチナ需要はコロナ禍前の水準をはるかに上回っています。駆動方式の電化は今後も鈍化が予想され、ハイブリッド化は進んでおり、自動車プラチナ需要のセンチメントは「より長く、より高い」水準へ変化すると予想されます。私たちは、このようなセンチメントの変化と、地上在庫の急速な減少による継続的な供給不足とによって、プラチナの基調的なファンダメンタルズの強さが、その市場価値を確立する上でより重要な役割を果たすようになることを予想しています」

「毎年恒例の上海プラチナウィークをはじめとする WPIC の市場開発努力や、中国における製品パートナーの増加は、同地域における投資需要の大幅な成長を達成する決定打となります。この需要分野は、2019 年の 31 koz から 2023 年には 186 koz となったように、数年前から伸びており、現在では私たちが公表している需要データに完全に含まれています。この需要分野は市場全体の不足に大きく貢献しており、さらなる成長が見込まれています。注目すべきは、中国におけるコインおよび地金（スモールバーおよびラージバー）需要を合わせると、今年の総需要が 34%も急増すると予測されていることです。」

「水素経済におけるプラチナの役割は、今後かつてなく重要であるでしょう。2024 年の見通しは、需要のベースは小さいものの、大幅に増加しており、業界の勢いを示しています。各国政府による 3,000 億米ドルを超える税制優遇措置と補助金の継続的な配分と展開は、水素セクターにおけるプラチナ需要を引き続き支援し、加速させる可能性があります。この傾向は世界の投資家の関心を着実に集めることとなり、脱炭素化に向けたグローバルな取り組みへの関連資産に投資できるという、魅力的な機会を提供しています」

出典：Metals Focus 2020 - 2024

注記：

1. ** 2018 年 12 月 31 日現在の地上在庫 114 トン (Metals Focus)
2. † ノンロード自動車需要は自動車触媒需要に含まれます

プラチナ需給バランス (トン)	2020	2021	2022	2023	2024年予想	2023年／2022年成長率 (%)	2024年予想／2023年成長率 (%)	2023年第4半期	2024年第1半期	2024年第2半期
供給										
製錬高	155	196	172	174	171	2%	-2%	46	38	48
南アフリカ	103	146	122	123	121	1%	-2%	33	25	35
ジンバブエ	14	15	15	16	16	6%	-1%	4	4	4
北米	10	8	8	9	8	5%	-1%	2	2	2
ロシア	22	20	21	21	20	2%	-4%	6	6	6
その他	6	6	6	6	6		7%	1	1	1
生産者製品在庫における増減 (+/-)	-3	-3	+1	+0	+0	-74%	-100%	+0	+0	+1
鉱山からの総供給量	153	193	173	175	171	1%	-2%	46	38	49
リサイクル										
自動車触媒	62	66	55	48	49	-12%	2%	12	12	12
宝飾品	47	50	41	36	36	-14%	2%	9	9	9
工業	13	13	12	10	11	-11%	4%	2	3	2
	2	2	2	2	2	3%	8%	1	1	1
総供給量	215	258	228	223	220	-2%	-1%	58	50	61
需要										
自動車	71	77	86	100	101	16%	1%	25	26	26
自動車触媒	71	77	86	100	101	16%	1%	25	26	26
ノンロード	↑	↑	↑	↑	↑	N/A	N/A	↑	↑	↑
宝飾品	57	61	59	58	62	-2%	7%	15	15	16
工業	65	79	72	73	74	2%	1%	21	20	20
化学	20	21	21	24	17	17%	-31%	7	5	4
石油	3	5	6	5	5	-18%	-3%	1	1	1
電気	4	4	3	3	3	-16%	1%	1	1	1
ガラス	15	23	16	13	20	-14%	47%	5	6	7
医療	8	8	9	9	9	5%	4%	2	2	2
水素ステーションなど	1	1	0	1	2	133%	123%	0	0	0
その他	15	16	17	18	18	4%	2%	5	4	5
投資	49	0	-16	14	16	N/A	15%	6	4	14
地金およびコインの増減	18	11	8	10	6	25%	-44%	1	2	1
中国における500g以上の地金購入	1	1	3	4	6	49%	40%	1	2	1
ETF保有高の増減	16	-7	-17	-1	5	N/A	N/A	5	0	14
取引所在庫の増減	14	-4	-10	0	0	N/A	-100%	-1	0	-1
総需要	242	217	201	245	252	22%	3%	67	64	75
合計	-28	42	27	-23	-32	N/A	N/A	-8	-14	-14
地上在庫	80**	121	148	125	93	-15%	-25%			

-終了-

メディア関連のお問い合わせ先 : **Elephant Communications**
wpic@elephantcommunications.co.uk

編集者への注記 :

『Platinum Quarterly』について

『Platinum Quarterly』は世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するもので、独立した立場で実施され無料で提供される業界初のレポートです。『Platinum Quarterly』は、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル (WPIC) の刊行物です。WPIC が委託し、プラチナ金属市場の権威ある独立機関である Metal Focus が実施した調査と詳細な分析に基づいて作成されています。

World Platinum Investment Council (WPIC®、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル) について

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル (WPIC) は、現物プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する投資家の方々の強いご要望を受けて設立されました。WPIC の使命は、行動可能な見識と目標を定めた商品開発を通じて、現物プラチナに対する世界の投資需要を喚起することにあります。WPIC は、南アフリカの主要プラチナ生産者によって 2014 年に設立されました。WPIC の加盟会社は、Anglo American Platinum (アングロ・アメリカン・プラチナム)、Impalats、Northam Platinum (ノーザム・プラチナ)、Sedibelo Platinum (セディベロプラチナ)、Tharisa です。

詳細は、ウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください

WPIC ロンドン事務局所在地：World Platinum Investment Council, Foxglove House, 166 Piccadilly, London, W1J 9EF

WPIC 上海事務所：中国上海市浦東新区銀城路 8 号 ICBC タワー2301 号 World Platinum Investment Council

Metals Focus について

Metals Focus は、世界の大手貴金属コンサルティング会社の 1 つで、世界の金、銀、プラチナ、パラジウム、ロジウム市場の調査に特化し、定期レポートの発行、予測、個別のコンサルティング業務を行っています。Metals Focus チームは 8 つの法域に分散し、世界中の多数の情報源を網羅しています。これを活かし、Metals Focus は、貴金属市場に関する世界レベルの統計、分析、予測を提供することに特化しています。

詳細情報は、ウェブサイト www.metalsfocus.com をご覧ください。

プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属の 1 つで、独特の物性を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しました。同時に、貴金属としての独自の特質を持つため、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの 2 つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。過去 5 年間の年間プラチナ総供給量（精製済みオンス）の 72%~78%は、鉱山で生産されたものです。

世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要の主要分野は、自動車、工業、宝飾、投資の 4 つです。

過去 5 年間の自動車触媒へのプラチナ需要は、プラチナ総需要量の 30%から 44%に相当しています。自動車以外の工業分野におけるプラチナの多様な使用は、世界総需要量の 32%となっています（過去 5 年間の平均）。同様に、宝飾品における世界の年間総需要は、プラチナ総需要の平均 26%を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も変動が大きく、過去 5 年間は総需要の-10%から 20%を占めています（投資家が保有する未公表の保有残高の変動を除く）。

免責事項

World Platinum Investment Council および Metal Focus のいずれも、投資に関する助言を提供するための規制機関による許可を受けていません。本書のいかなる部分も、投資に関する助言、証券もしくは金融商品の販売の提案または購入の助言を意図するものではなく、そのよ

うに解釈されるべきでもありません。投資を行う前に必ず適切な専門家による助言を受けてください。詳細は、ウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください